

京都学派 (講談社現代新書)

京都学派

菅原潤



「世界最高」を目指した
最高の知性は、なぜ
「戦争協力者」へと墜ちたのか？

西田幾多郎、田辺元、三木清、「京大四天王」……

講談社現代新書

発売日: 2018年2月14日

出版: 講談社

著者: 菅原潤

西田幾多郎に始まる「京都学派」の思想は、西洋哲学にも匹敵するオリジナルな哲学として、高く評価されています。しかし一方、戦前日本の海外侵略的姿勢に思想面からのお墨付きを与えたとして、厳しい批判にもさらされています。本書では、いったん彼らの「政治的な誤り」はカッコに入れた上で、客観的なその哲学的評価を試みます。その上で、なぜ彼らは過ちを犯すことになったのか、その深い理由に迫ります。

<https://rapidgator.net/file/0997c8b32f44fa6d8374e3e571322150/zSdnONz52.pdf.rar.html>